

年度	平成16～18年度
----	-----------

**基本目的 1 市民が快適に暮らせるまちになる**

**行動目標 1-1 快適に暮らせる生活基盤が整う**

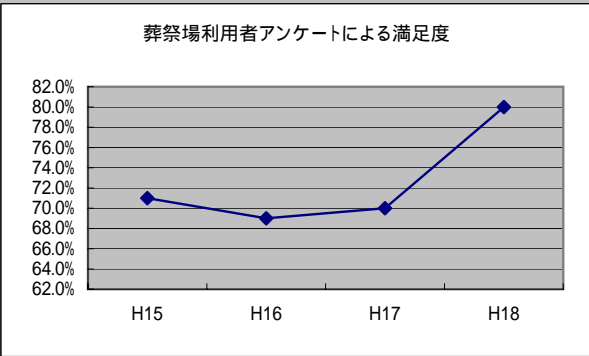
(所管課名 環境部生活環境課)

任務	利用しやすい斎場、葬祭場、墓地を提供する
----	----------------------

**任務の成果・活動指標の推移**

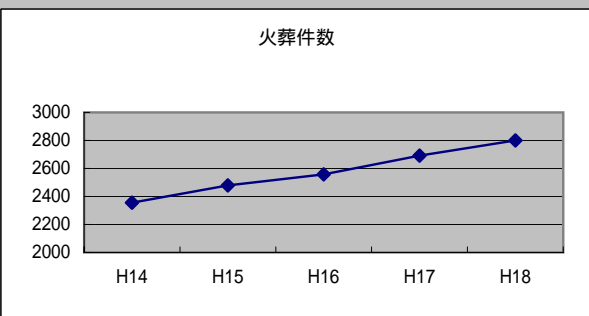
**葬祭場利用者アンケートによる満足度**

H14実績	-
H15実績	71.0%
H16実績	69.0%
H17実績	70.0%
H18目標	80.0%



**火葬件数**

H14実績	2,355
H15実績	2,479
H16実績	2,558
H17実績	2,691
H18目標	2,800



**指標の説明**

任務である「利用しやすい斎場、葬祭場、墓地を提供する」を客観的に判断するため、葬祭棟利用者へのアンケートを平成15年度より実施しており、アンケートの中で「満足できた」人数を指標としている。  
また、活動・成果指標ではないが、火葬件数が毎年増加しており、この傾向は当面続くと思われる。

**任務に対する評価**

**これまでの取組と成果、手段の妥当性**

**平成16～17年度**

斎場・墓地は市民生活に密接に関係する施設であり、利用しやすい施設であるよう運営に努めた。  
火葬炉の老朽化に伴い平成16年度から平成22年度にかけて、制御盤の更新、耐火物の全面積替え等を実施している。また、絨毯の張替え、照明制御盤の更新など随時修繕を行っている。  
火葬件数は、増加傾向が続いており、当面人口の高齢化によりこの傾向が続くと思われる。  
葬祭場利用者は、民間の式場が増加していることもあり横ばい傾向となっている。

**平成18年度**

平成18年度より北大谷斎場管理運営業務の委託先が変更になったが、満足度の指標が目標達成できるよう充分委託先と連携を図っていく。  
平成18年度も引き続き、火葬炉の年次の改修を行うとともに、随時施設の改修を行う。  
なお、平成18年度は大矢知町の北部墓地公園を約250区画分拡張する。

**これからの課題、施策等展開の方向性**

火葬件数の増加に伴い、待合室の増築が必要となっている。  
また、年次的に改修を行っているが、利用者の高齢化によるバリアフリー対策や利用者が和室より洋室を好む傾向が強くなってきたことから、抜本的な改修が必要となっている。